

新型コロナウイルスの影響に関する女の子と若い女性の声アンケート集計結果

このアンケートは、公益財団法人プラン・インターナショナル・ジャパンが15-29歳の女性を対象に新型コロナウイルス(COVID-19)の影響について行ったアンケート調査(有効回答数364)となります。

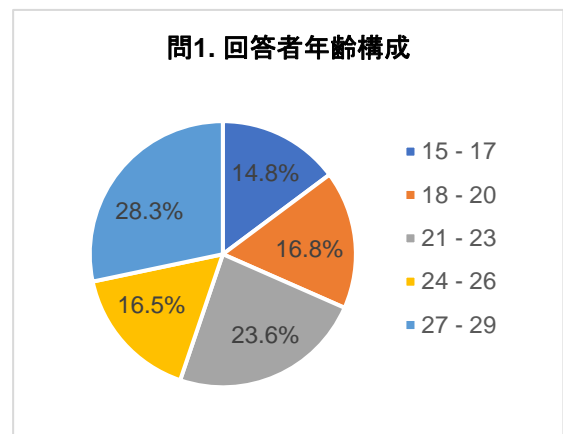
同アンケートは、新型コロナウイルスの感染拡大が懸念される中、15-29歳の女の子と女性から新型コロナウイルスの影響や要望についての声を聴き、そこから課題を具体的に抽出する目的で実施されました。

- 有効回答者数:364
- 対象:15-29歳の女の子と女性
- アンケート方法:オンラインでのアンケート調査
- アンケート実施日:2020年4月15日-26日

A. 回答者の属性

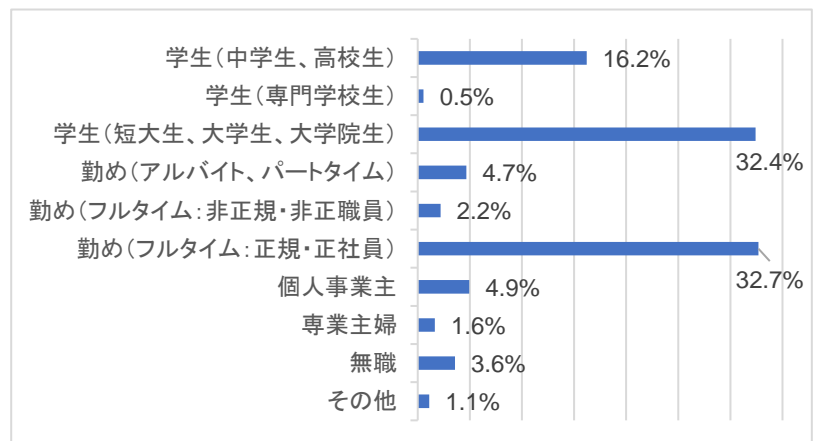
A-1. 回答者の年齢は15-29歳

(問1. あなたの年齢を教えてください [回答数 364])。



A-2 回答者の多くは学生(「中学生、高校生」、「専門学校生」「短大生、大学生、大学院生」)の回答者含む180名、49.1%)と「勤め」(「フルタイム:正規・正社員」、「フルタイム:非正規・非正職員」・「アルバイト、パートタイムパート、アルバイト含む147名、39.6%))。

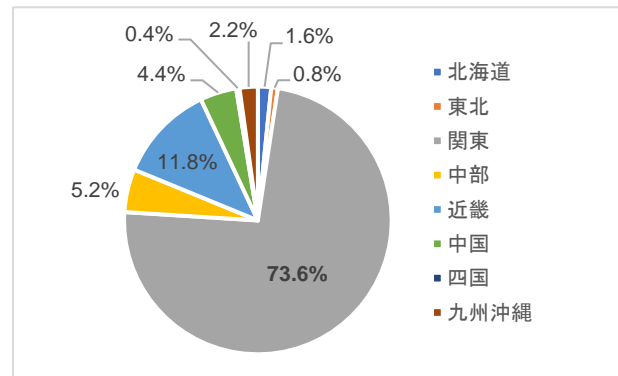
(設問2. あなたは次のどれにあたりますか。もっとも当てはまるものを1つ選んでください。[回答数 364])



A-3. 回答者の73.6%が関東在住

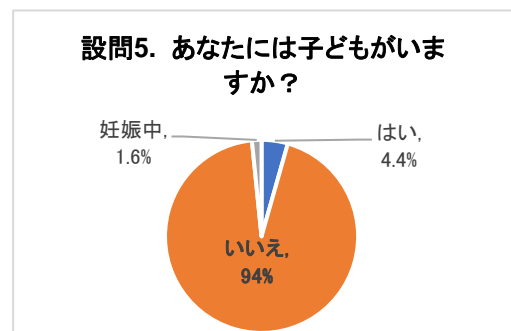
(設問 3. あなたが現在住んでいる地域を教えてください。)

[回答数 364]



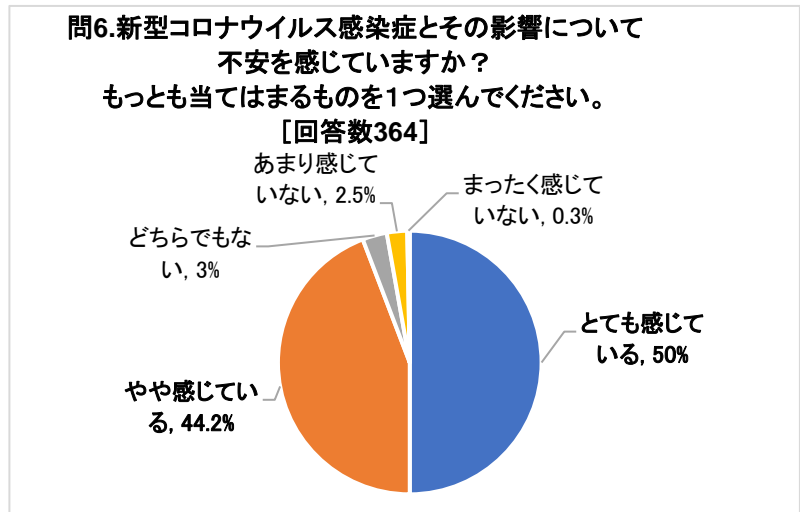
A-4. 回答者の86.5%が結婚しておらず、「子どもがない」回答者は94%

(設問 4 あなたは結婚(事実婚含む)していますか？[回答数 364]のうち「はい」13.5%、「いいえ」は86.5%。設問 5 あなたには子どもがいますか？は右図参照。[回答数 364])

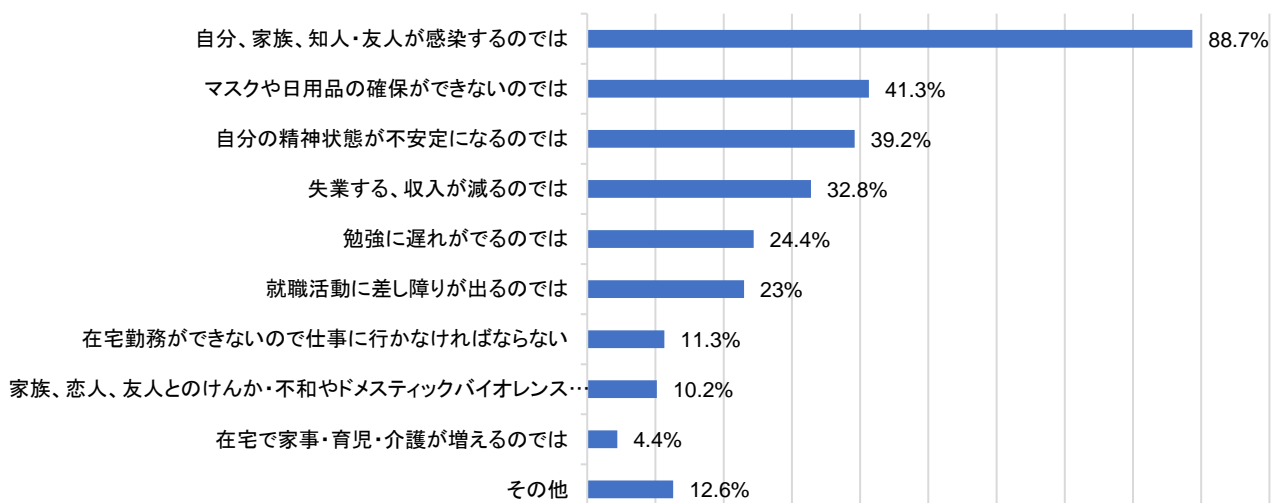


B. 新型コロナウイルスへの不安

B-1. 全体として 94.2%が不安を感じている。年齢による回答の差はほとんどないが、「フルタイム勤務(正規・正社員)」の回答者がもっとも不安が少なく、「パート、アルバイト」「フルタイム勤務(非正規、非正職員)」「個人事業主」「専業主婦」「無職」の回答者は、「とても感じる」という回答率が高かった。また、既婚者と子どもがいる女性、妊婦の女性は、家族や子どもの感染や家事育児の負担増、出産に関する不安から独身者、子どもがいない女の子、女性より不安を感じている(右図問 6 参照)。



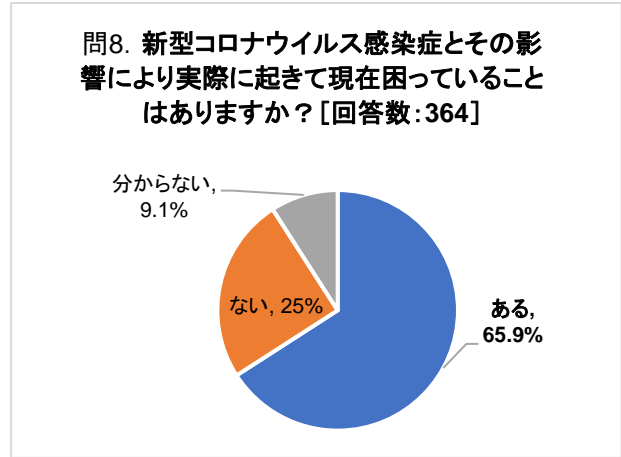
問7. 問6で「とても感じている」、「やや感じている」と回答した方に伺います。新型コロナウイルス感染症とその影響に関して、現在どのような不安がありますか？当てはまるのをすべて選んでください。[回答者数343、複数選択回答]



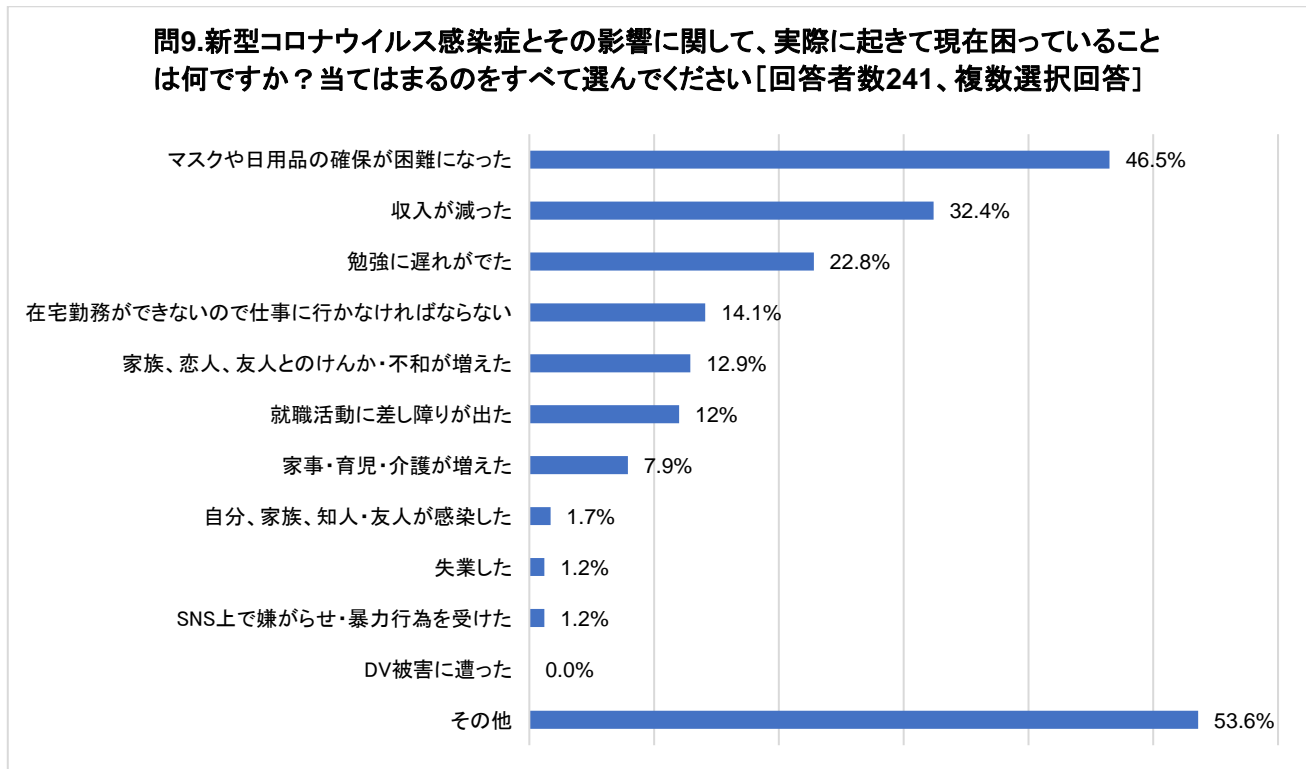
「その他」の回答

- ・ 格差社会の拡大、収束後の社会経済的な国際情勢。
- ・ 経済、ビジネスへの影響。
- ・ 基礎疾患があるため健康への不安。
- ・ 親が失業するのではという不安。
- ・ 政府の対応の遅さに不安を覚えた。
- ・ 妊娠、出産・育児への不安。
- ・ 貧困層や社会的弱者を救う制度が整っていないのではないかと。

B-2. 「新型コロナウイルス感染症とその影響により実際に起きて現在困っていることはありますか？[回答数364]」の問いに、高校生、次に正規・正社員の間では、「困っていることがある」と回答した人の率が比較的低かった。既婚者、子どもがいる人、妊婦はそうでない人と比べて、困っていることがある人が多い。



B-3. 「実際に起きて困っていることがある」と回答した方へ実際に起きたことを挙げてもらったところ、日用品の入手(46.5%)、収入減(32.45)、学業への支障(22.8%)など多岐にわたる。



「その他」の回答は下記の通りである。

<ストレス、メンタルヘルス関連>

- ・ 一人暮らしで人に会うこともできず、精神的にきつい。
- ・ 自宅から出られないことでのストレス。人と会えないことでの孤独感。
- ・ メンタルヘルスへの影響があり、数週間鬱病のような症状にあった。
- ・ 外出への規制などに対する、非協力的な反応や楽観視する人たちがいることがストレス。
- ・ 自粛続きで気持ちが続かない。

<学業>

- ・ 学校、塾が無くなった。
- ・ 留学に行けるか危うい。

<仕事関連>

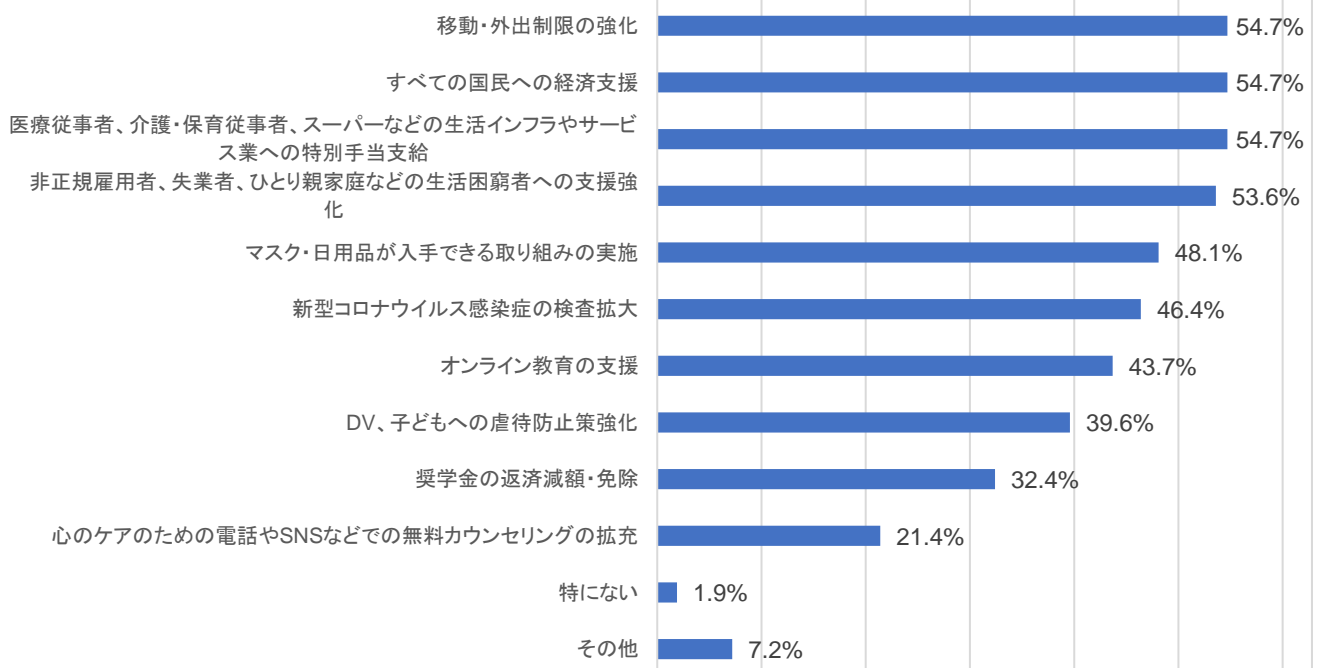
- ・ 仕事量が増えた(回答者は医療従事者)。
- ・ 新入社員として4月から働く予定だったのが、自宅待機兼研修になった。
- ・ 在宅勤務の装備が不十分。
- ・ 医療従事者として働いていて、対応に疲弊している。
- ・ 客からの理不尽なクレーム、スポーツジムに対する偏見。
- ・ 職につながる資格試験が延期・中止になった。
- ・ 会社の業績に影響が出た。
- ・ 職場(医療従事者)でマスクなど物品の不足が顕著になった。
- ・ 週1日出勤日で残り4日が自由出勤になったものの、ほぼみんな出勤していて、自由に在宅するには強い心が必要。今後の評価にも関わりそうで怖い。

<その他>

- ・ 大学生の、自由な時間があるうちに挑戦しようと計画していたさまざまなことが中止せざるを得なくなった。
- ・ コロナの検査が簡単にできない。
- ・ 日本へ帰国できない。
- ・ 不妊治療中のため妊娠後感染について不安がある。治療を続行すべきか迷っている。
- ・ 出産後のサポートが得られない、マスクがないと産後健診に行けない。

B-4. 政府への直近の要望は多岐にわたるが、経済支援や教育支援、心のケアや虐待防止などへの要望が目立った(問 10 参照)。

問10. 新型コロナウイルス感染症とその影響に関して、現在不安に感じていることや困っていることに対して、今すぐ政府にして欲しいことは何ですか？当てはまるのをすべて選んでください。[回答者数364、複数選択回答]



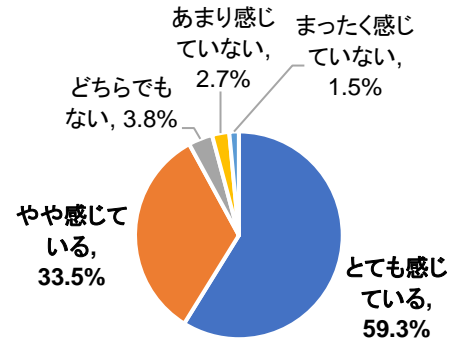
「その他」の回答

- ・ 医療機関へオンライン診察や、郵送対応などを促すよう要請してほしい。
- ・ 飲食店、観光業への補償と休業要請。
- ・ スタートアップ企業に対する経済支援。
- ・ 医療崩壊の防止施策実施。

C. 中長期的な支援

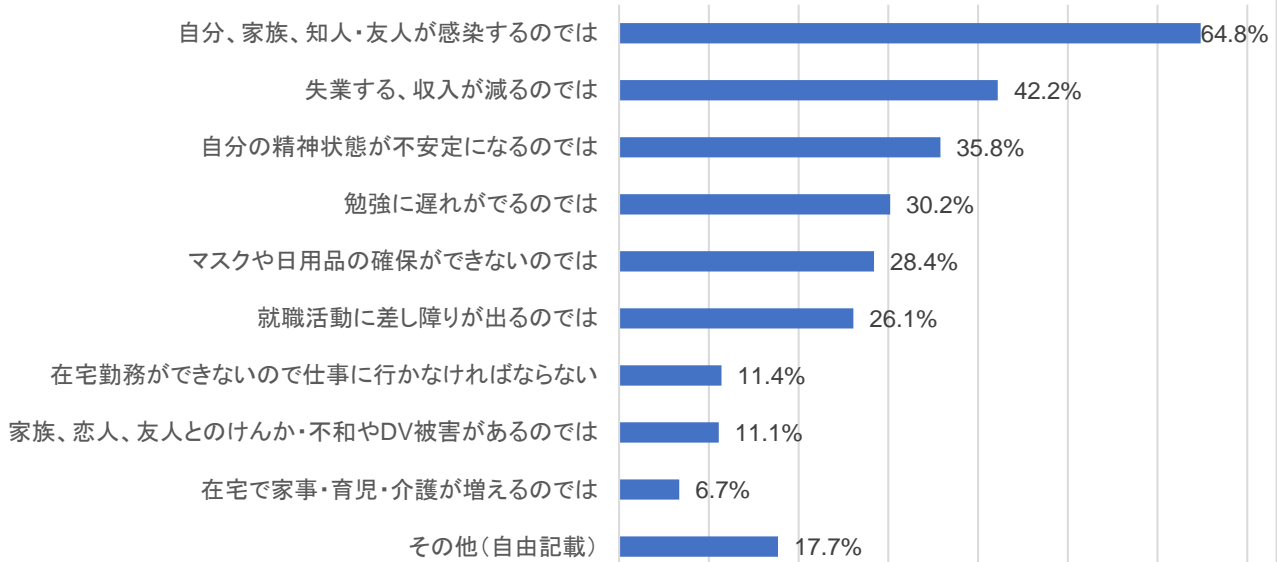
C-1. 全体として、92.8%の回答者が中長期的な不安を感じている。「現在困っていることがある」の回答と同様に、高校生、次に正規・正社員がもっとも中長期的不安が少なく、既婚者、子どもがいる人、妊婦はそうでない人と比べて、「とても感じている」と回答した率が高い。

問11. 新型コロナウイルス感染症とその影響について中長期的な(半年～1年先の)不安を感じますか？もっとも当てはまるものを1つ選んでください。[回答数364]



C-2. 中長期的に見た場合、収入減への不安(42.2%)や自身の精神への影響(35.8%)などのほか、在宅での家事・育児・介護の負担増(11.1%)の懸念がみられる。また妊娠への不安がでるなど、漠然とした不安がみられる(問12参照)。

問12. 中長期的に見た場合、収入減への不安(上記で「とても感じている」「やや感じている」と回答した方)にうかがえます。新型コロナウイルス感染症とその影響に関して、中長期的(半年～1年先の)にはどのような不安がありますか？[回答者数341、複数選択回答]



「その他」の回答

<経済>

- ・ 世界的に失業者が増えること。
- ・ 経済状況悪化によるビジネスへの影響。
- ・ 日本経済の長期的不安定。

- ・ 貯蓄が底をつく。
- ・ 困窮する家庭が増えること。

<学業>

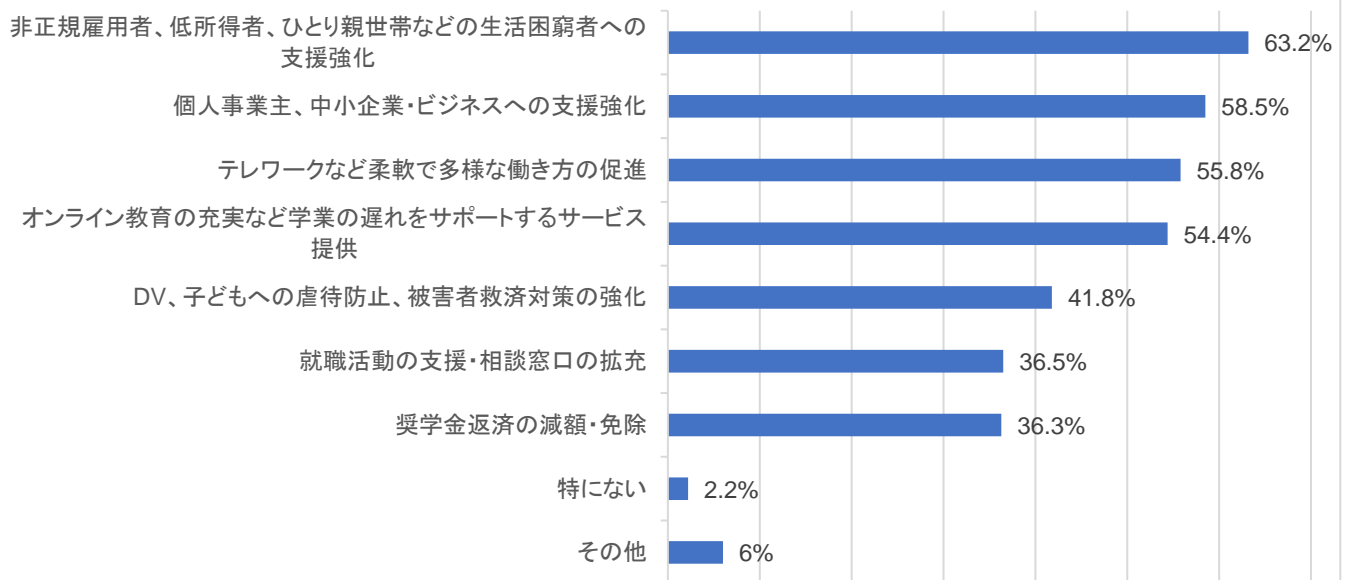
- ・ 大学進学への影響がありそう。
- ・ 受験が無事に行われるのか。

<その他>

- ・ 通院できずに体調維持ができるのか。
- ・ 妊娠したいが怖い。
- ・ 母子家庭や子どもなど社会的弱者への対応。

C-3. 中長期的には「生活困窮者支援」「ビジネス支援」など経済対策の強化を求める一方で、「テレワークなど働き方の見直し」(55.8%)や「オンライン教育」(54.4%)など、在宅で仕事や学習ができる環境整備への要望も見られる。また、中長期的支援として「DV や子どもへの虐待防止、被害者救済対策の強化」(41.8%)なども声が上がっている。

問13新型コロナウイルス感染症とその影響に関して、中長期的(半年~1年先の)に政府にして欲しいことは何ですか？ 当てはまるのをすべて選んでください。
[回答者数364、複数選択回答]



D. 「女の子、女性だから」という理由で受ける影響

アンケートでは、問 14 で「新型コロナウイルス感染症について、自分が『女の子、女性だから』という理由で受ける影響や、男の子、男性よりもっと影響が大きいと思うことはありますか？ある場合は、差し支えない範囲で何か教えてください」と質問したところ、複数の意見が寄せられた。おもなものは以下の通りである。

<家事・育児の負担増加>

- ・ 家事を夫が家にいるのにもかかわらずさせられること。
- ・ 家族から家事を負担すると言われる。
- ・ 家事の負担は確実に多く感じる。
- ・ 男女ともに家にいる時間が増えたにも関わらず、家事にかかる時間は女性ばかり増えている。
- ・ 女性であるから、家にいる間に家事をするべきだという固定概念に不自由さを感じる。
- ・ 保育園の登園自粛で子どもを家で母親がみなくてはならないので、こういう時に「女性だから」だなと感じる。
- ・ テレワークと育児の両立を望まれること。
- ・ 子どもが感染した場合、女性が働けなくなる。
- ・ 「買い物、家事をやるのがわたしの役割」というプレッシャーがある。そうではないはずだけど。
- ・ 「女は家庭にいろ」という家父長制がさらに強まる。

<妊娠・出産>

- ・ 妊婦は不安だと思う。買い物も基本女性が多いので、スーパー等での感染はあり得る。
- ・ 妊娠のタイミング(今後も新型コロナウイルスのため病院をすぐ受診したり、出産時にきちんとした医療を受けられないかもしれないと思うため、妊娠をためらう)。
- ・ 将来、妊娠した時の胎児への影響、経済的な面の不安など。
- ・ 妊娠し感染した場合の身体(母子ともに)への影響。
- ・ 妊娠時の垂直感染への恐怖で子どもを作ることに不安がある。また、妊娠中は免疫力が低下する上に、使える薬にも制限があることに関しても不安がある。
- ・ 妊娠中のため、医療崩壊が進んでしまったときに無事に出産できるのか、また母子感染してしまわないか不安があります。また SNS 上で、この時期に妊娠している女性に対して無責任だと批判する投稿やコロナベビーと言ってからかう投稿を多々見かけて精神的にも辛く感じます。

<生理用品の入手>

- ・ ナプキン購入に制限がかかること。
- ・ 生理用品などの日用品も品薄になっている。
- ・ 近くのドラッグストアで生理用品が一時期無くなったときに、女性が受ける影響の中で一番厳しいものなのではと感じた。

<仕事、失業>

- ・ 非正規雇用で新型コロナウイルス対策の口実として、女性が先に職をなくすこと。
- ・ 女性は雇用形態が非正規状態にあることが多く、経済的に不安定になりやすい。また、それにより失業のリスクが高い。
- ・ 子どもを自宅保育しなければならないことによって収入を断たれ、夫に依存しなければ生きていけない状況に置かれる可能性があることに大きなストレスや不安を感じる。
- ・ 女性だからという理由で派遣や契約社員雇用だったり、責任のある立場を任せたりしない働き方をしている、会社から優先的に解雇される事例は増えそう。
- ・ 売り上げが厳しくなると男性社員よりも女性社員を解雇するのではないか。
- ・ 収入が無くなり生活費を稼ぐために風俗店で働く人が増えるのではないか。
- ・ ジェンダーによる役割が固定化された社会のあり方が可視化されていないことが問題。たとえば、医療従事者やスーパーの店員など、COVID-19 への対応への最前線に立たされている人の多くが女性である。弱い立場に置かれているのに、「女性」がそのような不利な立場にあるとの分析や対応が少ない。
- ・ 自分ではないが、保育士や看護師など緊急事態でも働かなければならない職業に女性が多いこと。

<DV 被害>

- ・ DV を受けている友だちが性暴力の被害に遭わないか心配。
- ・ 自分にはおきてないが、DV 件数が増加するのではないかと怖い。
- ・ 自分の経験ではないが、性犯罪や DV に巻き込まれたニュースが多くて気になる。
- ・ 在宅勤務や外出制限のストレスが、家庭内で妻に対して発散させられる。

<現金支給先>

- ・ 10 万円の給付が世帯主にされるので、父親に頼まないともらえない。不公平だと思う。
- ・ 国民全員への 10 万円支給で、世帯主以外の人を受け取れないことによる女性への影響。
- ・ 現在の日本の世帯主は男性が多いため世帯主に給付は女性に行き渡らない可能性がある（逆の可能性も少なからずあると思うが）。

E. マイノリティ女性に関する課題

E-1 アンケートでは、差し支えのない範囲で、回答した女性に、①障がいの有無、②外国にルーツがある、③その他に当てはまるか質問を行った。回答は以下の通りである(問 15)。

問 15. あなたについて、差し支えのない範囲で当てはまるのがあったらすべて選んでください。

回答	回答数
なんらかの障がいがある(身体的障がい、精神、発達障がい)	13
移民、外国人または外国にルーツがある	26
その他	7

その他回答として「セクシュアル・マイノリティ、LGBTIQ+」「基礎疾患がある」「パートナーが外国人」との回答を得た。

E-2. マイノリティであることに関連して、新型コロナウイルスの影響について自由記述での回答を求めたところ、多くの回答が寄せられた。回答の中には「差別の拡大」への懸念や支援対象から「国民」以外が排除されるのではないかと意見や、障がいのある方への支援サービスの縮小、同性パートナーがいる場合、「カミングアウトしていないので、パートナーの感染時に病院からの連絡を受け取ることができない」など多様な意見が出された。

(問 16. 上記で当てはまるものがあると回答した方にうかがいます。差し支えなければ、上記に関して新型コロナウイルス感染症の影響で不安なこと、困っていることがあれば教えてください。(たとえば、コロナ対策で障がい者支援サービスが縮小されているなど)。[回答数 34])

<移民、外国人または外国にルーツがある方>

- ・ 在日だと、感染していても国から見放されてしまう。
- ・ 中国のルーツを持っているので、「コロナウイルスは中国からきたものだ」を理由として差別などを受けられるのではないかと心配。
- ・ 感染症に対する不安から人種差別、民族差別が助長されること。また政府の支援策の中で「国民」以外が排除されること。
- ・ 就職活動において日本人ではないことによって採用されないのではないと感じる。
- ・ 差別の拡大。
- ・ 政策の対象に外国人も含まれるのかが心配。

<障がいがある方>

- ・ (注意欠如・多動症(ADHD)の方より)今後も支援サービス自体が縮小されていくと思う。まずはマイノリティへの焦点を当てほしい。常備薬が手に入る状態が続くのか不安。強い不安感やストレスを感じる場面が増え、カッとなってしまいそうになる。
- ・ 通院に不安がある。休職の手続きがもともと複雑なうえ、外出が難しいので通いづらい。
- ・ 定期的に病院に通う必要があるが、病院は人が多く集まっていて感染しないか心配。

<セクシュアル・マイノリティ、LGBTIQ+の方>

- ・ もしどちらかが COVID-19 に感染したとしても、親や友人など、ほとんど誰にもカミングアウトしていないため、緊急時にパートナーとして連絡を受けることができない。
- ・ 現在実家に帰省していて、完全にカミングアウトしているわけではないので、結婚のことや恋人のことなどを尋ねられるとしんどく、その頻度が多くなった。

E. 政府への要望

問 17.で「新型コロナウイルス感染症の対応について、その他政府への要望について自由にお書きください」としたところ、多くの意見が寄せられた。以下はその一例である。

<外出制限の強化>

- ・ 外出の自粛を要請するのではなく、通院や生活必需品の買い出しなど、生きるために必要な外出以外の外出を強制的に禁止してほしい。
- ・ 今の外出制限には危機感が感じられず、意味を成しているのか疑問。短期間で事態を収束させるためにも、より厳しい外出制限、休業要請を課し、企業支援も今以上に明言すべきだと思う。
- ・ 緊急事態宣言を出すだけ出して、市民はほとんど変わらない生活を送っているのは、意味がないと思う。商店街は人がたくさん行き交っている。まずは食品と生活必需品の提供の形を考えて実行してほしい。

<経済支援>

- ・ 休業するならばきちんとした補償を、働いたら徹底した感染防止のための衛生対策を。
- ・ 物流や電気ガスなどのインフラ整備に携わっている方への補償がない。医療や保育園と同じくらい、私たちの生活を維持するために必要な仕事をしてくれている。
- ・ 非正規雇用者への補償の義務化、非課税世帯への給付。
- ・ 収入が無くなる、または減る人(世帯主だけでなく、扶養内労働の妻個人やアルバイトの学生に対しても)全てに、これまでと変わらずに安心して生活していけるだけの金銭的補助。
- ・ 新型コロナウイルスによって経営不振となった企業や失業者に対しての手厚い支援も行ってほしい。
- ・ 現金給付、学費支援。
- ・ 中小企業や特定の業界に優劣を付けて支援するのは、間違っている気がする。
- ・ 世帯主への給付はぜひ考え直してもらいたいと思う。いろいろな家庭があるので、個人が直接受け取れるような仕組みづくりをお願いしたい。
- ・ 医療従事者、介護・保育従事者、スーパーなどの生活インフラやサービス業への特別手当支給を手厚く行ってほしい。
- ・ 転職活動を進めていましたが、コロナの影響で、内定取消し、選考自体も一旦中止となった。現在、新たに転職活動をスタートさせたものの、以前よりも応募できる企業が減り、採用基準も厳しくなったと感じている。このような状況下でも企業が採用活動を継続できるように、企業側に対して支援してほしい。
- ・ 緊急事態にこそ社会的弱者と呼ばれる人や、ハンディのある者、マイノリティに目を向けるよう強く願う。
- ・ 改めて脆弱な非正規雇用のシステムをなくすことを考えてほしい。

<医療機関・従事者への支援>

- ・ 医療機関へ優先的に医療機器、消耗品が行き渡るようにしてください。
- ・ コロナウイルス感染者を受け入れている・受け入れてないに関わらず医療従事者はコロナの影響を受けているし、出勤せざるを得ないため何かしら危険手当を検討してほしい。
- ・ 医療従事者などパンデミックの中でも必死に働いてくださっている方々に対してのサポートをお願いしたい。

<教育支援>

- ・ 小学生、中学生、高校生の教育支援、特に、精神的に未成熟な小学生の心のケアと、オンラインを使った塾に行く経済的余裕がない受験生へのケアを至急行ってほしい。
- ・ 学習や資格試験のオンライン化を促進してほしい。
- ・ 日本学生支援機構の奨学金申請書類すべてのダウンロード化を求める。現時点でダウンロードできず、大学が着払いで送ってくる。配達員との接触を増やす着払いは危険。しかし、大学は「直接業務と間接業務が異なる。奨学金は間接業務で着払い対応とする」としている。そもそも書類を紙で郵送するよりもダウンロード出来れば、無駄な接触を減らせる。
- ・ 子どもたちがオンラインで学べる場を作っている人たちがすでにいるので、そのプラットフォームを作って全国に発信してほしい。
- ・ 休校措置の延長。

<妊婦への支援>

- ・ 妊婦や通院が定期的に必要な人にタクシー券などの支援をしてほしい。
- ・ 両親の感染時の子どもの面倒を誰が見るのか、妊娠中の女性の通勤対応。

<検査拡大>

- ・ 検査拡大してほしい。
- ・ 検査の体制も1日も早く整えてほしい。

<政府の対応全般>

- ・ 他国に比べて対応が遅すぎる、緩すぎる。もっと先手先手で迅速に且つ柔軟に対応してほしい。
- ・ 日本政府の動きの遅さが気になる。
- ・ 意思決定が遅いことはともかく、国民の感覚とあまりにズレがある。国民の声に耳を傾けられるシステム、また国民が声を上げやすくなるシステムづくりが必要では。
- ・ 感染症専門家などの話をもう少ししっかり聴いて活用してほしい。
- ・ コロナ終息後にスムーズに勤務に戻ることができるような環境作り(コロナ流行中に長期での欠勤、就職先が見つからない求職状態が続く、解雇になった等の理由で働けなくても、保育園を退園にならない措置)。
- ・ 医療崩壊の防止施策を強化してほしい。
- ・ せっかくテレワークなどの作業をせざるを得なくなった状況なので、役所手続きなどもどんどんオンライン化してほしい。
- ・ 対策が行き当たりばったりで問題に対する効果が見込めない、または時間や手間がかかりすぎて本当に困窮しているところに支援が行き届かないという事が多く見られる。もっと専門家の意見や国民の声を積極的に取り入れ、必要であれば海外で行われている対策やシステムを導入するべきだと思う。
- ・ 全体的に遅いと思う。強い規制をかけてそこから緩めていくとしなければ人はまだまだ働きに出てしまう。経済支援もインターネットを使うなどしてドイツのような迅速さが求められていると思う。

以上